

千葉県千葉市風災害被害調査

1. 調査概要

調査日：9 月 10 日（木）午後

調査範囲：千葉県千葉市中央区 JR 蘇我駅周辺（図 1 参照）

調査者：日本大学工学部土木工学科 長谷部寛および大学院生 1 名



図 1 被害調査範囲

（図中の矢印は竜巻の予想進路を，丸は被害の見られた場所を示す）

2. 調査報告

千葉県千葉市中央区の JR 蘇我駅周辺を調査した。図 1 に主な調査範囲を示す。図中の調査範囲 1 は駅の南西側に位置し、明確な被害が見受けられたエリアである。一方で、調査範囲 2 は駅の東側に位置し、被害の痕跡が見られたが、突風の被害によるものか判断が難しかったエリアである。被害が見られた地点は直線状に位置しており、竜巻による被害と推測される。なお、調査日は被害発生（9 月 6 日夜）から数日経過しており、応急処置や飛散物の撤去が進んでいた。

以下に被害概要を示す。

【地点①】

写真1に示すとおり、ゴルフの練習場のネットがちぎれていた。従業員の方に被害状況を伺ったところ、ネット以外の支柱等には被害はなかったようである。この地点より南西側には大きな工場があるが密集してはおらず、周辺は開けた土地であった。



写真1 強風でちぎれたネット

【地点②】

被害が顕著に見られたエリアである。写真2のように、屋根に損傷を受けた住家が多く見られた。特に瓦屋根の住家に被害が多く見られた。剥がれた屋根瓦が飛散し、写真3のように近隣の住家の壁に突き刺さっているところがあった。飛散物の被害が目立ち、壁面や窓ガラスの損傷、屋外に駐車している車両の車体のへこみなどが見られた。他にも工場の屋根の破損、ブロック塀の倒壊などの被害が見られた。



写真2 屋根に損傷を受けた住家



写真3 瓦が突き刺さった住家の壁面

【地点③】

写真4に示すように、線路脇に置かれた物置が横転していた。写真には写っていないが、この脇には折れたポールや何かの部材などが積み上げられていた。線路内に落ちた飛散物ではないかと推測される。また、線路脇の民家にも屋根や壁面の破損が見られた。



写真4 横転した物置

【地点④】

駅の東側の地域には、西側ほど明確な被害は見受けられなかった。一部、ビルの窓ガラスや駐車場の看板が破損しているところはあったが、発生後日数が経過したのために片付けが行われており、突風による被害か否かの判断ができなかった。（そのために写真の掲載は控える）

3. まとめ

9月10日に千葉県千葉市蘇我駅周辺の風災害の調査を行った。被害の見られた箇所を地図上にプロットすると（図1参照）、南西の海側から駅に向かって幅100～200mの範囲で直線的に点在していることが明らかになった。このような被害の状況から、今回の風災害は竜巻によるものと推測される。

特に瓦屋根の住家に被害が目立ち、屋根自体の破損だけでなく、剥がれた瓦が飛散して周辺の住家等に被害が広がったようであった。